

令和元年(平成31年)木曾地域振興局 おもなできごと

令和元年(平成31年)の主な出来事を次のとおりとりまとめました。

【3月】

☆「林業・木材産業の高付加価値化に向けてのロードマップ」に基づく事業を展開

木材等のブランド化・販路拡大、人材育成等、林業・木材産業の高付加価値化を推進（信州の木自給圏構築木曾流域部会の提言）するため、学識経験者や関係機関の代表者等による協議会において「林業・木材産業の高付加価値化に向けてのロードマップ」を3月に策定し、その後マップに沿った取り組みを始めました。



☆定勝寺で「そば」イベント開催

3月13日(水)に、日本最古のそば切りの記録が保存されている大桑村の定勝寺で、そば切りの歴史と文化を学ぶイベントを初めて開催しました。



【4月】

☆長野県議会議員一般選挙

4月7日(日)に長野県議会議員一般選挙が執行されました。木曾郡選挙区（定数1）は無投票となり、大畑俊隆氏が当選しました。

【6月】

☆「しあわせ信州移動知事室（木曾地域）」の開催

6月7日(金)から2日間、木曾地域では平成28年以来2回目となる「しあわせ信州移動知事室」を開催しました。

当日は、木祖村のアートイベント「木曾ペインティングス」の視察を始め、木曾町を中心とした地域の若者や子育てグループとの対話、町村長や観光事業者等との意見交換（木曾地域戦略会議）を行いました。



☆令和元年度ふるさとの森づくり県民の集い（第70回長野県植樹祭）を木曽地域で開催

6月8日(土)に木曽町三岳の御岳ロープウェイ（黒沢御岳国有林）において、県内各地や木曽川下流域から約1,000名の参加者を迎え、長野県植樹祭を開催しました。

平成28年に開催された全国植樹祭で上皇陛下がお手播きされ育てられた苗木の記念植樹を含め、信州カラマツ約5,600本の植樹作業を行い、水や空気を育む貴重な資源である森林に感謝するとともに、森林を活かしながら守り育て、次世代に引き継いでいくことの重要性を発信しました。



☆大相撲出羽海部屋の合宿が木曽の地で初めて開催される

6月20日(木)から3日間、出羽海部屋の夏合宿が木曽町の町民相撲場で開催されました。相撲が盛んな木曽の地において、上松町出身の関取 御嶽海関をはじめ若手力士も大勢参加した稽古が行われ、力士の熱気や見学者の歓声で連日賑わいました。その後の9月場所では、御嶽海関が2回目の幕内優勝を果たしました。

木曽合同庁舎1階にはコーナーを常設して、“郷土の誇り”である御嶽海関の活躍を紹介しています。



【7月】

☆御嶽山噴火災害から5年 黒沢口登山道一部規制緩和

7月1日(月)に開山式 が行われ、5年ぶりに夏山シーズンを通して御嶽山の最高峰・剣ヶ峰頂上までの登山が可能となり、多くの登山客が訪れました。今後、木曽地域の観光振興がさらに加速していくことが期待されます。

☆県内初、CSF（豚コレラ）に感染した野生イノシシが発見され、その後拡大へ

7月8日(月)午前9時頃、木曽町新開で発見された死亡イノシシを検査したところ、CSF感染を確認。これにより感染したイノシシは岐阜、愛知、三重、福井に続き5県に広がりました。感染確定を受け、発見地点から半径10キロ圏内の町村や塩尻市の一部は、より厳重なCSF調査対象区域となりました。

その後、ワクチン散布や消毒の徹底など様々な対策を取ってきましたが、野生イノシシへの感染は広がり続け、9月には木曽地域全域が感染イノシシの確認地域となりました。

感染拡大を防ぐために、秋の狩猟期間に向けて、今年度は講習会による防疫知識の学習や消毒等の徹底を図ることとしました。



☆第25回参議院議員通常選挙

7月21日(日)に第25回参議院議員通常選挙が執行されました。木曾郡の投票率(69.24パーセント)は前回参院選時から4.66パーセント下回りましたが、県全体の投票率(54.29パーセント)を上回りました。

【8月】

☆郡内高校生への企業説明会を開催

郡内の企業を知って進路の参考にしてもらうため、木曾地区雇用対策推進協議会主催による高校生向けの企業説明会を8月21日(水)に木曾合同庁舎で開催しました。

様々な業種の企業9社が、プレゼンテーションとブース展示で会社の魅力をアピール。参加した高校生からは、「地元の企業のすごさを知ることができた」、「就職するなら郡内企業も考えたいと思った」等の感想が寄せられました。



【9月】

☆東京大学木曾観測所トモエゴゼン観測運用開始の記者発表会

東京大学大学院理学系研究科附属天文学教育研究センター木曾観測所が中心となり開発を進めてきた105cmシュミット望遠鏡用の新観測装置「トモエゴゼン」の完成と本格稼働の開始に伴い、9月30日(月)に木曾合同庁舎で記者発表会を行いました。



【10月】

☆「やまびこフォーラムin木曾」の開催

10月26日(土)から2日間、県内の地域づくり団体相互の交流と地域資源を活用した地域活性化を目的に、木曾地域で9年ぶりとなる「やまびこフォーラム」を開催しました。

日本遺産をテーマとした地域活性化に関する講演会や木曾のスローフードを生かした料理を提供したほか、南木曾町妻籠宿の現地見学会が開催され、多くの参加者が交流を深めました。



☆台風19号の被害により国道361号(伊那木曾連絡道路)全面通行止

台風19号が全国各地で猛威を振るい、県内にも東北信を中心に未曾有の被害をもたらしました。

台風の影響により国道361号(伊那木曾連絡道路)で道路崩壊が発生して10月20日(日)から全面通行止めとなったため、木曾地域の住民生活や産業に影響が出ています。

本復旧には相当の期間を要する見込みですが、仮復旧工事が進められており、12月19日(木)から片側交互通行ができる見込みとなりました。

【11月】

☆定勝寺でそばを学んで打つ体験会を開催

11月20日(水)に、日本最古のそば切りの記録が保存されている大桑村の定勝寺において、そば切りの歴史と文化を学ぶイベントを、3月に引き続き開催しました。更に、そばを打つ体験会も同時開催することで、歴史に思いを馳せるとともに、そば切りの魅力を体感していただきました。



【12月】

☆「木祖村農産物加工センター」の開所

木祖村産の農産物を使った特産品の開発・研究・加工による6次産業化の推進を図るため、県営中山間総合整備事業により建設した農村地域活性化施設が12月6日(金)、「道の駅木曾川源流の里きそむら」横にオープンしました。

当施設の完成により、地域農業の一層の振興が期待されます。



【荣誉に輝く木曾の人々】

☆様々な分野で多くの方々、団体が業績を高く評価され、表彰されました

- 令和元年春の叙勲を、元木曾福島町消防団団長の春日正志さん(木曾町)が、秋の叙勲を、元航空自衛隊航空総隊司令部総務部長の水野進さん(大桑村)、現奥原医院長の奥原佐さん(木祖村)、現保護司の村上正雄さん(上松町)、元木曾町消防団副団長の中田明男さん(木曾町)が受章
- 知事表彰(各界功労)を、前上松町長の田上正男さん(上松町)、元上松町消防団団長の大道俊昭さん(上松町)、一般社団法人長野県建設業協会常任理事の加藤晋悟さん(木曾町)が受賞
- 大桑村が7月4日に交通死亡事故ゼロ5,000日を達成し、長野県交通安全運動推進本部顕彰を受賞
- 木曾郡選挙管理委員会連合会表彰を、南木曾町選挙管理委員会委員長の末松博幸さん(南木曾町)、王滝村選挙管理委員会及び木曾町選挙管理委員会が受賞
- 「地域発 元気づくり支援金」事業 優良事例のうち知事表彰を、木曾ペインティングス実行委員会(木曾町)が、局長表彰を、開田高原倶楽部(木曾町)が受賞
- 県税功労者知事表彰を、元一般社団法人木曾法人会副会長の林博さん(木曾町)が受賞
- 長野県中央家畜市場子牛共進会 去勢牛の部で、丸山幸一さん(木祖村)が最優秀賞 県知事賞を受賞

- フラワー・ブラボー・コンクール（長野県学校花壇設置等コンクール）で、木曾町立日義中学校（木曾町）が優秀賞（中日新聞社賞）を受賞
- 関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰で、長野西活動組織（大桑村）が優秀賞を受賞
- 長野県ふるさとの森林づくり賞を、半場洋平さん（大桑村）、伊倉俊雄さん（木祖村）が受賞
- 卓越技能者知事表彰（信州の名工）を、こけらふき工の職種で平田裕実さん（上松町）が受賞
- NAGANO ものづくりエクセレンスに、楯木工製作所（南木曾町）の「木製ペンダントライト C60」の技術・製品が認定
- 令和 2 年用国土緑化運動・育樹運動標語に、木曾町中学校の倉野千寛さんの作品「豊かな緑 育てて守る つなげる未来」が入選

ONE NAGANO

みんなでひとつに がんぼろう信州

「ONE NAGANO」はみんなで復興に取り組もうという合言葉
一人ひとりがそれぞれの立場で、できることからやってみよう！

木曾地域振興局 総務管理課総務係

（課長）宇都宮 純（担当）児玉 真二

電話 0264-25-2211（直通）

F A X 0264-23-2583

E-mail kisochi-somu@pref.nagano.lg.jp